



9/13～9/16 なぎさのともしび

コロナ禍が続く中、学校では、行事や活動が制限されて、中止になったり変更になったりして、とても残念な気持ちの人が多と思います。

中でも、学校の三大大行事の一つなぎさ祭は、昨年は作品展示をご家庭にインターネットを通じてお届けしたところです。

この度、1年生から6年生までのなぎさっ子全員の作品「なぎさのともしび」を講堂に展示し、各クラスごとに鑑賞しながら、お気に入りの作品をタブレットで写し、作品の良さをまとめていきました。講堂に1歩足を踏み入ると、LEDランプをともした一人一人の作品が輝きを放ち、420名のなぎさっ子たちの作品で講堂全体が別の世界のようにになりました。休憩時間にもやって来て鑑賞している子もいましたね。

作品から放たれた光が、天井にまで届いて美しい光の模様ができたことは、絵画造形の三木先生や土井先生も「想定外のことで、驚きました。」と話されていました。

このような展示会ができた裏には、講堂内の重いベンチを運び出したり、420個ものLEDランプを朝つけたり放課後に消したりするという大変な作業をしてくれた5、6年生のみんなのおかげもありました。感謝します。コロナ禍では、確かに失ったものも多くありましたが、逆に、工夫して、協力して素晴らしい時間をもつこともできました。ご家庭で鑑賞する機会がなかったのは、申し訳ないことでしたが、ブログなどで見ていただければと思います。



イネ

トウモロコシやコムギとともに世界三大穀物の1つとなっているイネの原産地は、約1万年前の中国長江流域の湖南省周辺地域と考えられています。地球上の生物の命をつないだ植物でもあります。なぎさの田んぼで育ったイネは、今、ネットにおおわれて乾燥しています。

10月の生活目標

- ・力をあわせて取り組もう（運動会）
- ・身の回りの整理整頓をしよう

運動会の準備着々・・・

澄み切った青空のもと、運動会の準備が始まっています。芝生には、なぎさっ子の目印になるペグがいろいろな色のテープをつけて打ち込まれました。おりしも、1年生が裸足で体育の授業をしています。コロナの感染状況も少しずつ収束息に向かっているようです。昨年と同様に制限がある中での実施になりますが、子どもたちは、とても張り切っています。

おなじみの「なぎさフラッグ」は、7月ごろから練習に入りました。1年生から3年生までの教室前には、練習計画が張り出され、やる気満々です。

いよいよ、10月からは、グラウンドでの練習に入ります。

秋のプレゼント

秋にいち早く気づいたなぎさっ子たちです。手には、途中の道で見つけた木の葉や虫、野の草花などを手にして見せてくれます。季節感を味わうなぎさっ子たちの小さなプレゼントに思わず、にっこり。今日は、マスクにヌスピトハギをひげのように張り付けて笑わせてくれた3人の女の子たちがいました。こっそり、私の服にもつけてくれていました。（笑）

